



暑い暑い36日間の夏休みがやってきた! コロナに負けず 計画的な日々を過ごす中で、生徒一人一人が成長する夏に!

梅雨明け宣言後も蒸し暑い日々が続く、第1学期の締めくくりの時を迎えていますが、保護者の皆様におかれましては、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、コロナ感染症第7波の到来が大変危惧されるころではありますが、いよいよ明日から、生徒一人一人の待ちに待った36日間の暑い暑い夏休みが始まります。しかし、長いようで短いのが夏休みです。あれもしよう!これもしよう!とスタートしたものの、なかなか思い通りにいかずに、後半になって悔やみ、焦り出す夏休みの思い出は、生徒たちだけではなく、少なからず保護者の皆様方もほろ苦い思い出として残っていることだと思います。

だからといって、計画を立てなくていいかという、やはり計画は立てるべきだと思います。それは計画は、充実した夏休みにするための「目標!」だからです。

今の子どもたちは、大人の指示によって動くことが多く、受身的な生活に陥っていると言われます。

だからこそ、この夏休み、自分の決まりや規則に従って、生徒自らが考えて行動できるよう、生徒一人一人に、自分で自分の計画を作ること大切にしてほしいと思っています。また、計画の中には新しい体験を生むようなものをあえて入れることで、チャレンジ精神を磨くような場面も作ってもらいたいと思っています。

また、計画を実行する上では、当然のごとく、生徒自身の主体性がまずは重要となってきます。しかしながら、生徒の意欲や主体性というものは、保護者の側面からの支援次第で大きく変化するというのもまた事実です。

保護者の皆様におかれましては、誠に申し訳ない中とは思いますが、生徒たちの計画が計画倒れにならないよう温かい見守りと励ましの言葉かけをよろしくお願いします。

この夏休みは生徒たちにとって、自分で計画し、自分で実行し、自分で評価する絶好の機会です。そして、それを成し遂げていく過程で、きっと生徒たちは自分に自信が持てる、新しい自分との出会いを獲得していくことでしょう。

さあ、暑い暑い36日間の夏休みが始まります。引き続き、感染予防の徹底を図る中で、生徒一人一人の逞しいこの夏の成長を願って、保護者・家族の皆様、生徒たちのサポートをよろしくお願いいたします。



夏休み突入に向けて、様々な教育活動を展開する中で 1学期末の充実した日々を生徒達は過ごしました!(裏面まで続く)

その1 7月12日(火) 3年生対象 「性教育講話」を実施しました!

現在、若者の間では性感染症や人工妊娠中絶が増加しており、将来の妊娠や心身の健康に重大な影響を与えるのではないかと危惧されています。そこで、性に対して興味や関心を持ち始め、また、各種メディアの影響を最も受けやすい思春期の3年生全員を対象に、今回は、講師として助産師の平間 愛(ひらまめぐみ)様をお招きし、実際の医療現場(生命誕生に関わる現場)での体験談や従事する中での思いも交えながら、性に関する正しい知識(二次性徴・男女交際・妊娠/出産)や性に関する諸問題(性感染症・望まない妊娠・人工妊娠中絶)について話をさせていただきました。蒸し暑い体育館の中での講話ではありましたが、生徒全員が真剣な眼差しで話を聞いており、講話後には活発な質疑応答が行われました。生命誕生の尊さや男女の協力の大切さ、何よりも今後の生き方や他の生命(心とからだ)を大切にすることの重要性について学ぶことのできる大切な機会となったと思います。



講師 平間 愛 様

3年生全員が真剣に話を聞く中で、2名の男子生徒が7kgのおもりをお腹につけて妊婦体験を履かしてくれました!

その2 7月14日(木) 県中総体&県吹奏楽コンクール 郡中学校選手・吹奏楽部結団式を開催しました!



県中総体に出場する各部キャプテンの力強い決意表明と素晴らしい吹奏楽部の演奏2曲が披露されました。

激励の言葉

いよいよ7月23日・24日・25日の3日間、県内様々な会場に分散して長崎県中学校総合体育大会が開催され、郡中学校から86名の選手の皆さんが登場します。厳しい暑さに負けず、仲間との絆を信じる中で、これまで磨いた力と技と気力を、県大会で思う存分発揮してください。1つでも多く勝ち進み、これまでの記録を塗り替え、願わくば九州大会、全国大会へと更なる栄光の道が続くことを祈っています。

また、本校の吹奏楽部39名は、7月30日に諫早市で行われる長崎県吹奏楽コンクール県央地区大会に出場します。このコンクールは、8月7日にアルカス佐世保で開催される県大会、そして九州大会につながる大切なコンクールです。県央地区大会では、日頃の練習の成果を思い切り発揮して、大きな感動を、そして県大会への切符をしっかりつかんでください。応援しています。 校長より

激励の言葉

6月に行われた市中総体、約3年間の努力を結果に変える最後のチャンスでした。その市中総体で勝ち残り、県中総体へと勝ち進むみなさん。県中総体はもちろん郡中学校の代表として出場しますが、同時に大村市の代表として戦うこととなります。背負っている思いは大きく、大きな会場に緊張することもあろうと思いますが、そんな皆さんを郡中に残る生徒一同、心から応援しています。自分のベストを尽くし、悔いの残らない試合になるよう頑張ってください。 生徒会長 佐々木惲了



いいお父さん、いいお母さんになれるよう赤ちゃん抱っこ体験も行いました。

